



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 三和ホールディングス株式会社  
コード番号 5929 URL <https://www.sanwa-hldgs.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 靖司  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 藤井 克巳  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3346-3019

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	132,173	11.1	8,670	77.7	8,263	109.8	5,833	126.5
2023年3月期第1四半期	118,957	19.9	4,880	30.5	3,938	5.6	2,575	6.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 8,689百万円 (10.1%) 2023年3月期第1四半期 9,665百万円 (56.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	26.39	26.33
2023年3月期第1四半期	11.66	11.63

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	447,318	243,887	54.1
2023年3月期	442,274	242,350	54.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 242,107百万円 2023年3月期 240,656百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		25.00		33.00	58.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		29.00		29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	274,000	2.2	18,500	13.9	18,500	6.8	12,500	7.3	56.56
通期	580,000	1.4	47,500	15.6	46,500	11.9	31,800	3.9	143.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	231,000,000 株	2023年3月期	231,000,000 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	9,948,870 株	2023年3月期	9,985,209 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	221,042,279 株	2023年3月期1Q	220,945,204 株
------------	---------------	------------	---------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想に関する記述等についてのご注意)

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取巻く外部環境は、インフレーション抑制に向けた各国の利上げ動向、為替変動、ウクライナ情勢の長期化など、引き続き不安定な状況で推移しました。

このような環境下、当社グループは、「三和グローバルビジョン2030」及び「中期経営計画2024」の2年目をスタートし、引き続き、気候変動やデジタル化で変化する社会のニーズに応える高機能開口部ソリューションのグローバルリーダーへ向けた基盤の確立に注力し、基本戦略を実行しました。基本戦略の「日・米・欧のコア事業の強化、領域拡大」では、2023年1月に米国で自動ドアの販売、施工、修理サービスを専門とするDoor Control, Inc.及びDoor Concepts, Inc.を買収しました。「防災・環境対応製品の拡充と製品・サービスのスマート化推進」では、高い耐風圧性能800Paを実現した軽量シャッター「耐風ガードLS」、鋼製軽量ドアの特徴である軽さと堅牢性の両立に加え防火性能も兼ね備えた屋内用防火ドア「鋼製軽量ドア 窓付特定防火設備タイプ」等、製品の防災・環境対応とスマート化に努めました。「アジア事業の成長力強化」では、新たに三和上海、三和NF常熟、AUBを連結範囲に加え、事業基盤強化に注力しました。

セグメント別の概況は、日本では、工場施設や大型再開発案件を中心に重量シャッター・ビルマンションドア等の基幹商品に加え、メンテ・サービス事業も好調に推移しました。北米では、住宅向け市場が大きく落ち込む一方、非住宅市場が堅調に推移し、売価維持にも努めました。欧州では、住宅市場の悪化に伴いガレージドアは厳しい環境で推移しました。アジアでは、新規連結効果により増収となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比11.1%増の132,173百万円となりました。利益面では、営業利益は、前年同四半期比77.7%増の8,670百万円、経常利益は、前年同四半期比109.8%増の8,263百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比126.5%増の5,833百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### <日本>

売上高は、前年同四半期比9.1%増の51,274百万円、利益に関しましては、前年同四半期に比べ595百万円改善し504百万円のセグメント利益となりました。

#### <北米>

売上高は、前年同四半期比13.1%増の50,989百万円（外貨ベースでは0.2%減）、利益に関しましては、前年同四半期比71.7%増の7,616百万円のセグメント利益となりました。

#### <欧州>

売上高は、前年同四半期比9.5%増の27,481百万円（外貨ベースでは0.1%増）、利益に関しましては、前年同四半期比16.5%減の855百万円のセグメント利益となりました。

#### <アジア>

売上高は、前年同四半期比38.0%増の2,411百万円、利益に関しましては、前年同四半期に比べ100百万円減の41百万円のセグメント損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に棚卸資産や固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ5,043百万円増加し447,318百万円となりました。負債は、主に借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,507百万円増加し203,430百万円となりました。純資産は、主にその他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,536百万円増加し243,887百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し54.1%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表致しました2024年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,653	70,790
受取手形、売掛金及び契約資産	113,909	96,346
電子記録債権	14,324	14,433
有価証券	8,600	11,600
商品及び製品	20,301	21,159
仕掛品	14,198	18,279
原材料	45,923	47,181
その他	8,567	11,778
貸倒引当金	△4,061	△4,128
流動資産合計	285,416	287,441
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,100	26,215
土地	20,900	20,993
その他（純額）	37,363	39,815
有形固定資産合計	83,364	87,024
無形固定資産		
のれん	7,601	8,136
その他	19,483	19,789
無形固定資産合計	27,084	27,925
投資その他の資産		
投資有価証券	32,054	30,591
退職給付に係る資産	7,262	7,377
その他	7,674	7,687
貸倒引当金	△582	△730
投資その他の資産合計	46,408	44,926
固定資産合計	156,857	159,876
資産合計	442,274	447,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,962	65,971
短期借入金	9,895	10,685
1年内返済予定の長期借入金	8,541	5,841
未払法人税等	7,374	3,234
賞与引当金	11,147	10,625
その他	40,587	42,001
流動負債合計	144,508	138,358
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,816	18,256
役員退職慰労引当金	339	328
退職給付に係る負債	10,976	10,976
その他	13,282	15,510
固定負債合計	55,414	65,071
負債合計	199,923	203,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,737	39,768
利益剰余金	144,460	143,043
自己株式	△9,869	△9,834
株主資本合計	212,742	211,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,106	3,432
繰延ヘッジ損益	327	349
為替換算調整勘定	25,895	27,263
退職給付に係る調整累計額	△414	△328
その他の包括利益累計額合計	27,914	30,717
新株予約権	255	255
非支配株主持分	1,437	1,523
純資産合計	242,350	243,887
負債純資産合計	442,274	447,318

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	118,957	132,173
売上原価	85,182	91,654
売上総利益	33,775	40,519
販売費及び一般管理費	28,894	31,848
営業利益	4,880	8,670
営業外収益		
受取利息	31	70
受取配当金	257	280
為替差益	—	18
その他	60	78
営業外収益合計	349	449
営業外費用		
支払利息	103	212
為替差損	63	—
持分法による投資損失	113	54
訴訟関連費用	771	279
その他	240	310
営業外費用合計	1,291	855
経常利益	3,938	8,263
特別利益		
固定資産売却益	5	13
特別利益合計	5	13
特別損失		
固定資産除売却損	5	3
関係会社整理損	0	—
特別損失合計	5	3
税金等調整前四半期純利益	3,938	8,274
法人税等	1,340	2,386
四半期純利益	2,598	5,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,575	5,833

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,598	5,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	202	1,325
繰延ヘッジ損益	98	22
為替換算調整勘定	6,390	1,642
退職給付に係る調整額	△24	86
持分法適用会社に対する持分相当額	398	△274
その他の包括利益合計	7,067	2,802
四半期包括利益	9,665	8,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,594	8,609
非支配株主に係る四半期包括利益	70	79



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	46,998	45,096	25,100	1,747	118,941	15	118,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	20	25	—	65	△65	—
計	47,018	45,116	25,125	1,747	119,007	△50	118,957
セグメント利益又は損失 (△)	△90	4,437	1,024	59	5,430	△550	4,880

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

## (1) 売上高

- ・その他の売上高 15百万円
- ・セグメント間取引消去 △65百万円

## (2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 15百万円
- ・全社費用 △585百万円
- ・のれんの償却額 △674百万円
- ・その他の調整額 △113百万円
- ・セグメント間取引消去 807百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などでありまして。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	51,274	50,989	27,481	2,411	132,157	16	132,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	28	25	170	264	△264	—
計	51,315	51,018	27,506	2,582	132,422	△248	132,173
セグメント利益又は損失(△)	504	7,616	855	△41	8,935	△265	8,670

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

## (1) 売上高

- ・その他の売上高 16百万円
- ・セグメント間取引消去 △264百万円

## (2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 16百万円
- ・全社費用 △523百万円
- ・のれんの償却額 △629百万円
- ・その他の調整額 74百万円
- ・セグメント間取引消去 797百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などでありあります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米……アメリカ、カナダ他

欧州……ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、イギリス他

アジア…中国、香港、台湾、ベトナム

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。